

編集後記

大学教育イノベーションセンターでは、「長崎大学 大学教育イノベーションセンター紀要」を年度末に発刊していますが、今回で第8号を数えます。

紀要の形態は、大学の教育改善や入試選抜方法の改善等に関わる研究論文（査読付き）、一般論文、実践報告、研究ノート等として掲載することとされていますが、その内容は本学の改革に関するもののみならず、様々な見地からの論考や調査研究、授業実践報告ほか幅広く自由な大学教育論議が展開されています。

今回、皆様のご協力で、一般論文7編、研究ノート2編、事業報告1編が寄せられ、100ページを超える紀要となりました。

寄稿された皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、大学改革が進む中、必要とされるのは教育の不易と流行を見極めることだと考えます。変えざるものは何か、変えるべきものは何か、しっかりとした議論が必要です。当然、改革の原点には学生の育成を中心に据えたものでなければなりません。

現在、本学を始め全国の国公立私立大学で3ポリシーの策定、見直しが進められています。

大学はどのような学生を育成して送り出すのか。そのためにどのような教育が必要なのか。そうした教育を実践するためにどのような生徒を求めるのか。各大学の独自性が問われています。

著者の皆様には玉稿を賜り、誠にありがとうございました。これらの研究は、日ごろの教員の努力の結集であります。今後の大学改革に直接または間接に係わる貴重な資料でもあり、大いに活用されることを念じています。

常に学び続ける教員としての矜持を、読者に感じ入っていただければ幸甚に存じます。

平成29（2017）年3月

編集委員を代表して 中川 幸久